清水地区タウンミーティング

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成２４年４月２７日（金曜）

【市長】　皆様こんばんは、今日は平日の夜間であります。仕事があった方、お疲れの方もいらっしゃると思うんですけれど、こんなに多数の方がお集まりをいただきまして本当にありがとうございます。清水地区広報委員会の松原会長さん、そして清水公民館の倉田館長さん、また地域の役員の皆様方のご協力あってこのタウンミーティングは開催できております。このタウンミーティングですけど、松山市は４１の地区に分かれます。地区ごとに公民館の本館が置かれてありますけれど、おおむねこの公民館の本館ごとに行っております。私が就任をさせていただいてから始めました。１年５カ月というところになりますけども、これは職員には、一つ手間のかかる話です。と言いますのが、市役所で皆さんが来られるのを待ってるほうが楽ですよね。それでいいんだろうか、私たちが出ていくことが必要ではないかと感じまして、就任してからこのタウンミーティング、私たちが皆様の声を聞きに行こうということを始めております。そしてもう一つ、このタウンミーティングは、開催して皆さんからのご意見を聞いたようなふりをすればある意味楽なんです。こういうのをガス抜きと言いますけども、それはいたしません。やりっぱなしにしない、聞きっぱなしにしないのが松山版のタウンミーティングの特徴です。具体的には、ここでお答えできることはお答えします。でも、例えば財政的な問題があるもの、国と絡むもの、県と絡むもの、こういう即座にお答えできないものもございます。そういったものはいったん持ち帰らせていただいて、国に問い合わせをする、県に問い合わせをする、その答えが戻ってくる、そして松山市としての方針を決めるということでありますので、１カ月がめどになってしまうんですけれど、１カ月をめどに必ず地区にお答えを返すようになっておりますので、やりっぱなしにはしない、聞きっぱなしにはしないというのが、この松山版のタウンミーティングの特徴でございます。言ったら二手間かけてると言えようかと思います。さて、こちらにも書いてありますように、このタウンミーティングはいつも、まず地区の魅力について皆さんに語っていただきます。話をしていただきますけども、これはなぜか。その地域の魅力を一番知っているのはだれでしょうか。市役所にいる私たちでしょうか、そうではないですよね。ここにお住まいの地元の皆さんが、その地区の魅力については一番知ってるはずです。その魅力を活かしたまちづくりができれば、それぞれの地区はより輝くことができます。そして、そういう地区が４１集まれば、その集合体である松山市はより輝くということになります。これを、行政が主体になって押しつけてしまったら、どこを切っても同じような金太郎あめのような地区が４１できてしまいます。その集合体の松山市はおもしろくないですよね、輝くわけがありませんので、それぞれの地区に住む皆さんに魅力について語っていただきます。そしてその魅力を活かしたまちづくりをしていく第一歩にしていただきたいと思います。そしてテーマ２、テーマ３とありますけども、当然、問題点、課題点があると思いますので、それについて教えていただくのがテーマ２、３になっておりますけれども、あまり固く考えなくて結構でございます。９０分という時間ですので、あんまり肩ひじ張ってると疲れてしまいますので、このあたりはざっくばらんにお願いできたらと思います。さて、私でお答えできるものはもちろん私でお答えをするんですけども、松山市の仕事というと本当に広い範囲に及びます。清水小学校があります、小学校中学校、公立学校の仕事も松山市の仕事、また図書館も持ってます、競輪場も持ってます、坊っちゃんスタジアムも持ってます、上下水道もあります。本当に松山市の仕事って幅が広いんですけども、それぞれの担当の部長、企画官、課長たちを連れてきております。企画官というのはわかりやすく言うと副部長という名前になろうかと思いますけども、企画をどんどん立てるという意味を込めて企画官という言い方を松山市ではしております。それでは各担当の部長、企画官、課長たち、それぞれ自己紹介をいたします。

【市民部長】　皆さんこんばんは、市民部長の三好と申します。このタウンミーティングの統括をやっております。普段の仕事としましては、市民サービスの提供、窓口サービスの提供で、市民課、２２支所７出張所、パスポートセンターとか消費生活センター、窓口におけるサービス。それと地域におけるまちづくり、男女共同参画、人権啓発、こういった業務をやっております。

【社会福祉担当部長】　皆様こんばんは。保健福祉全般を担当しております社会福祉担当部長の大濱でございます。

【環境政策課長】　こんばんは、環境部企画官兼環境政策課長の大野と申します。環境部ではごみの問題とか地球温暖化対策、それから川や海、大気の環境保全といった仕事をしております。

【都市政策課長】　皆さんこんばんは、都市政策課の白石と申します。都市整備部では道路、公園などの整備及び維持管理を行っております。

【生涯学習政策課長】　皆さんこんばんは、教育委員会事務局の生涯学習政策課長の前田と申します。教育委員会全般の業務を扱っておりますので、今日は皆さんのお声をお聞きしたいと思います。

【消防局企画官】　皆さんこんばんは、消防局企画官の岡本でございます。消防局で消防関係、火災救急救助、そして自主防災組織などを担当しております。

【市長】　という私と６人でございます。さっそく清水地区の魅力に入っていきますけども、もうご存知の方も多いと思います、私は松山市立清水小学校の入学、卒業で、もうよいよの地元です。その前を歩きながら、登校していた人間で、１２歳、小学校卒業まで住んでいたのは松山市萱町６丁目でした。今は、別の建物が建ってますけども、もうきっすいの清水小学校の卒業、入学です。また不思議なことに前の私の職場も以前はそこにありましたので、本当に清水はつながりが深いなと思っております。中学校は、親父が県職員、林業の技術屋だったんで、ちょうど勝中に行くってときに、伊予三島に転勤が決まりまして、中学校は伊予三島で過ごした。同級生たちと一緒に中学校行きたかったんですけども、できなくて寂しかったですけども、そのようなことで。あんまり私がしゃべりすぎると皆さんが手を挙げて言うことができなくなってはいけませんので、本当に清水はいい場所だと思いますので、皆さんと一緒に魅力についてまずは語っていきたいと思います。

【男性】　こんばんは、本日はよろしくお願い申し上げます。城北界隈はええとこぞなもし、その城北界隈の一角にある清水地域、人口が２６，６００人、世帯数が約１５，３００になっております。これ多い少ないちょっと比較しにくいんですけど、今現在、松山市の人口が約５１６，０００。４１公民館になっております。その４１公民館の中で、２６，６００人の人口は上から数えて４番目の人口の多い地域となっております。その地域の魅力について、２点ほど私から述べさせていただきます。まず第１点目が、清水地域は小学校から大学までバランスよく配置された文京の地区です。清水小学校と姫山小学校。それと中学校が勝山中学校、北高、高校が１校、それと松山大学、愛媛大学という、大学が２校あります。この大学２校の関係上、若者の多い非常に元気なまちとなっております。これまた後から出てくるとは思いますけど、一概に学生さんが悪いとは申しませんけど、この大学界隈の町内会はごみ出し処理の問題で非常に苦労されておるという問題があります。これが第１点目です。第２点目は、清水地域は非常に文化財、史跡、旧跡、お寺さんが多い文化のまちとなっております。日露戦争で捕虜になり亡くなったロシア兵が眠っているロシア人墓地、放浪の俳人種田山頭火が終盤過ごした一草庵など、数えきれないほど文化財の豊富な地域です。その文化財をこまめにすべて紹介していただいておるのが、この「ええとこぞなもし」シリーズで、この「ええとこぞなもし」シリーズは山野先生が出版されとんですけど、この山野先生というのは、勝山中学の校長先生もされ、今現在も姫原に住んでらっしゃる地元の人であります。この先生が、一番最新版で２月に「伊予節紀行は楽しいぞなもし」という本を出しております。この中ででも、十六日桜、あの伊予節に出てくる十六日桜、紫井戸、が紹介されております。私が何でこの本を持っているかといいますと、市長が序文を載せております。それでわざわざ持ってまいりました。ということで、市長が、もぎたてで食べ歩きはもう卒業しました、今のは書いてないんですよ、今度は書いとること言います、今度は文化財でまち歩きがしたいですよと書いております。ぜひ一番に、清水地域のまち歩きをしてください。よろしくお願いいたします。最後になりますけど、清水地域は地域、学校、ＰＴＡが一体となり安全で安心なまちづくりを推進しております。ほんまに清水地域はええとこぞなもし、終わります。

【市長】　今日できるだけ皆さんの顔を見ながらお話できればと思いますので私は立ってさせていただきます。職員たちは手元に細かい数字がありますので座ってになるかと思いますけど、もう清水の魅力については語り始めたら尽きないくらいありますので、私から補足をさせていただきます。さっきウイットを含めて言われたんですけども、私の前の仕事は食べ物がどうしても注目されることが多かったんですけども、がんばっている人、いいものをご紹介してきた番組だったと思っております。その一つの表れが食べ物だと思うんですけど、そういうプラス思考の番組をしてきた。各地を行きましたけども、やっぱり教育施設というのはまちの中心なんです。その教育施設がなくなって、火が消えたようになったまちをいくつか見てまいりました。ですからこういった教育施設があるっていうことは若者が集うということです、そして大学なんか特にシンクタンクという言い方します、いろんな研究の拠点ですから広がりがあります。皆さんに新たに「これなるほどな」と思っていただきたいのが、どこの都市も、大学って欲しいんですよ。愛媛は２０の市と町がありますけども、松山以外考えてみてください、大学ほかにありますか。宇和島に愛媛女子短大さんあります、以前は新居浜にも桃山短大ってありましたけども今はなくなりました。今治だったかな、獣医師系の大学が欲しいとか、皆さん大学って欲しいんですよ。そういった中で松山は四つあります。愛媛大学、松山大学、東雲大学、聖カタリナ大学、四つもある都市というのは、恵まれてると思います。そして松山には専門学校が２０もある。こういう教育機関があるというのは、すばらしいことだと思います。大学、高校、中学校、小学校もある。そして公共施設もいっぱいあります。若草に会館もあります、山越に行ったら県の、以前は整肢療護園といった言い方でしたけど、公共施設もある。そして日本赤十字病院を代表とした病院もある。日本赤十字病院は、あそこで改築といった方向性が出ましたけども、方向性が出るまではそれこそ北条のほうから北条に欲しいんです、松前の人から松前に欲しいんです、伊予市に欲しいんです、各地から声がありましたので、そりゃ大きい病院があると安心ですよね。少子高齢の時代ですから、大きな病院があるのもありがたいこと。文化財、私も大好きですけども、大川沿いの風景、こないだ桜散りましたけども桜並木なんかすばらしいですよね。水がきれいです、街中ですけど、ですから清水っていう土地の名前がついたんです。水がきれいですからおいしい酒ができます、だから横は味酒地区なんです。これ勉強しました、間違いじゃないです。水がきれい、文化財があるっていうのがすばらしいところ。最後にロシア人墓地をやっぱり地元の子どもたちがずっと守っている、お子さんたちを中心とした地区の方たちが守っているというのも素晴らしいことだと思います。清水は本当に地域資源に恵まれている、俳句の道もあります、平和通俳句いっぱいあります、これもすばらしいところだと思います。もう清水は地域資源がたっぷりある、これを活かしたまちづくりをしていくことが大事だと思いますので、これを皆さんとの共通認識にしたいと思います。

【男性】　今もごみのことでいろいろ言われよりましたが、清掃課はかなり苦労されております。清掃課の方は本当によくやっていただいて、協力していただいて本当にありがとうございます。ただ皆さんご存知のとおり、ごみのカレンダーが配布されてますが、年寄りからご意見がかなりありました。というのが、皆さんご存知のとおりごみのカレンダーが去年のと今年のでちょっと字が小さいんですね。それで「ごみ今日はなんじゃったろか」ということでいちいち眼鏡をかけて見んといかん。字が大きなるんは結構ですけど、ごみのカレンダーにつきましては字が小さくなってしまいましたので、ちょっと気をつけて、「何とか清掃課の方に言うてもらったらええんじゃが」と２，３人聞いております。そういうことで協力してもらえたらと思います。大きなった字はかまんのですが、小さくなるのはシルバーの人には苦労しておりますのでよろしくお願いします。

【市長】　松山市には「市長へのわがまちメール」という制度がありまして、ちょうどこの間も、「市長、ごみカレンダーの字がちょっと小さなっとんじゃが」というご意見がありました。で、お答えしたんですが、いろんな情報を入れないかんので、今年ちょっと字が小さくなってしまったんです。確かに言われるとおり高齢者が増えていく時代ですから、来年度のものからは、またご意見を踏まえたものにしていこうと思います。ごみのことについては大野課長。

【環境政策課長】　今おっしゃられたことよくわかりましたので、清掃課とよく研究して、ご回答させていただけたらと思います。私もこの４月から参りまして、ごみのカレンダーの去年の大きさがわからないんですけれど、私も老眼が始まって、ちょっと見にくいなというところもありますので、改正するところはちゃんと改正して、やっていきたいと思いますのでご理解賜りたいと思います。

【男性】　例年、３月、４月になりますと、分別していないごみがいっぱいあふれるわけですね。うちの役員さんとか班長さんとかが交代でやってくれよるわけですけど、もうその限界を通り越すというか、それでどうも分別、ごみの出し方を知らん人がやると思うんで、３月、４月いうたら学生さんとかが入ってきてやるんじゃろうと思うんですけど、そういう管理をしよる管理会社、そういうとこに市から指導がしてもらえんじゃろかという希望です。

【市長】　この学生さんの３月、４月のところは、私たちも本当問題としてしっかり認識をしています。これまで松山市が学生さんたちに対してどういう働きかけをしているのかを、大野課長から。

【環境政策課長】　学生、新入生に対しては、ごみの分別についての説明会を各学校に行ってやっております。それから不動産業者とか大家さん、そういった方々も対象に、ごみをちゃんと分別して出してくださるようにお願いしている状況です。特に入ってきたときもそうなんですけど、ごみをそのままにして出していかれる学生さんもいるということを聞きましたので、今度大学に参りまして、生協とかにちょうどごみを出す時期、１月、２月、３月にも、ごみの出し方を啓発していける方向をこれから取らしていただけるようにしたいということで今話し合っております。ぜひそういったことで考えてまいりたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。

【市長】　これからも引き続き、ルールにのっとってちゃんと出してもらえるように働きかけを一層していこうと思います。で、これ皆さんに胸を張っていただきたいデータがあるんですけど、松山市の一日一人当たりのごみ排出量、これ少なければ少ないほどリサイクル型のまちづくりができているっていうことになるんですけど、松山は５２万人ですから、５０万人以上の都市っていうくくりになりますけど、日本で最少です。これを５年連続で記録しています。これは市民の皆さんのご協力のおかげでできている数字なんで、日本一だというのは胸を張っていただきたい。我々もできるだけリサイクル型のまちづくりをしていきたいと思っております、ルールを守って出してくださいっていうのは学生さんたちに対しても思っています。これは今、広島市さんが追い上げてきておりますので、来年どうかないうところですけど、全国の中では本当にリサイクル型のまちづくりができてるようなんで、これからも皆さんご協力よろしくお願いします。うまくペットボトルのリサイクルもできるようになると、資源にすることができますから、地球に優しいということも言えると思いますので、ご協力の程よろしくお願いします。

【男性】　公民館で図書のお世話をさせていただいてます。端的に言いますと、図書を購入する費用を少しでも多く配分していただければと願っているわけです。と言いますのは、この公民館では今のところ４回、小さい子どもを対象にしたお話会を行っております。そのときにだんだんと参加者が増えてきておりましてうれしい傾向があるんですが、終わった後、参加されたご父兄とお子さんとを図書室に案内して、できるだけたくさんの本を借りて帰っていただこうと思うんですけど、どうしても新しい本を見たがります。ですからそういう本を買いたいんですけども、最近の絵本は非常に高い。１冊安くても１，２００円、高いものは１，６００円くらいです。そういう子どもたちの期待に応えたいということを特に強調しておりますのは、小学校、中学校は最近は国からの予算配分もふんだんにありますので、図書館の充実ぶりは目を見張るものがありますけども、幼児に関しましては、非常に手薄になっていると思うんです。保育園にしても幼稚園にしてもなかなか十分な本がそろってないようですし、またところによっては貸し出しが十分にできてないところも漏れ聞いております。それともう一つは、最近の８０歳のお年寄りは元気なんですね。例えば戦争体験のある方も浅田次郎の終わらざる夏を読破しますし、あるいは東野圭吾さんの本が大好きですよというおばあちゃんもいます。私もおじいさんですけどもっと上の先輩の方々が読まれます。ですから高齢者向けの図書を充実したい、やはり平均しまして１，６８０円、このあたりが平均相場です。ですからこれの購入も増やすとなれば予算がもう少し欲しいというところで、コミセンまで行けばいいと言いますけども、小さなお子さんにしても、あるいは高齢者にしてもそこまで行くのがなかなか大変という方もたくさんいらっしゃいます。地域でこまめに対応できるような、充実した図書というのを設定してみたいと思いますので、ご配慮よろしくお願いいたします。

【市長】　図書のことについてお話をさせていただきます。昨年度、清水公民館は充実することができましたので、そのことについては後で生涯学習政策課長から話させますけども、これは本当大事だと思います。さっきから少子高齢化と言っております。子どもの数が少ない状況、子どもの数が少ないと将来の日本を担う人の数が少ないということですから、不安を感じます。子どもをもっと産んでいただける、育てやすい環境にすることが大事。高齢の方に対する目配りも必要だし、子どもさんに対する目配りも必要。今、花園町の空間の使い方を変えようって地元の方と一緒に話しながら、今、花園町というと、複線の電車、２車線の道路、イチョウ並木で知られる緑地帯、副道、アーケード商店街、っていう４０メートルの幅広い通りです。平和通と同じように戦災復興で計画的につくった道路なんであんなに広いんですね。車があんだけの車線必要かというと、そんなにも必要ではないというデータも出ておりますので、これからは歩く人、自転車の人に配慮したまちづくりをすることが必要じゃないかってことで、そっちよりにより配慮するというようにしてまいります。例えばお母さんとお子さんが手つないでて、ぱっと手を放すこともあるじゃないですか。お子さんが自転車とぶつかって重大な事故になることもありますから、自転車が歩行者と混在するのはまずいだろうっていうことで、そういうのもあるんですね。子どもさんに配慮する、お年寄りに配慮するっていう観点もこれからのまちづくりでは大事。回り道しましたけども、本のことです。私自身も本が好きです。自分の子どもたちにもよく本読みました。５００円くらいの安い絵本買ってきて、毎晩子どもたちに読んでました。熱入れて読むもんですから「お父さん怖い」とか言われながら、読んでましたけども、やっぱり本読むの大事だそうですね。教育も大事にしたいんですけども、高校になって難しい数学の問題解こうと思っても読解力がないと読んでいけませんから、読書の力は大事です。力を入れていきたいと思っております。移動図書館つばき号があるんですけども、松山市の東部、梅本とか平井のほうは図書館ないんです。お困りだったので、フジグラン重信とかサニーマート松山久米店とかジョープラとか大きいスーパーに移動図書館持っていって向こうの方に利用していただこうっていうサービスをやり始めたところです。ですからできるだけ本を読んでいただこうっていうのは同じ思いですので、限られた予算ではあるんですけども、できるだけそれはやっていきたいと思ってます。

【生涯学習政策課長】　先ほどお話がありました清水公民館の図書の運営の方々ですけど、非常に熱心に活動されてると担当課から伺っております。昨年は講師の方をお招きして、ほかの公民館のスタッフの方々とモデル的に図書室の改装を行ったり、利用者にとって快適に使えるような空間となったと伺っております。また高齢者とか小さいお子さん向けの書籍を充実させたいという声に応えるべく担当課でも予算の獲得に努力をしているところですが、松山市自身の予算も限られていますので、教育委員会に配分された図書の予算の中で、地域の方々が一人でも多く、１冊でも多く活用していただくことによって、地域の活動に合わせた予算の配分ということを担当課も申しております。ちなみに清水校区では２２年度と２３年度を比べましても、貸し出しの冊数も増えておりますので、今後２４年度、２５年度に向かって繁栄をさせていただくことになろうかと思いますので、その熱い思いは担当課に申し伝えたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

【市長】　私からあと一言だけ。公民館の本、お金の配分は、借りていただければ借りていただくほど配分されるような仕組みになっておりますので、これは借りてもらうほうがいいです。借りないでおると、ここあんまり利用されてないということで、本もあまり替わっていかないことになりますから、これは利用していただければ利用していただくほどその分お金が配分されるシステムになっていますのでどうぞよろしくお願いいたします。

【男性】　小学校の通学区のことですが、緑町は清水小学校と東雲小学校、両方行くわけで地域の行事をするときに大変困る、協力をしない。例えば地区の清掃、分館の清掃をするときも、東雲校区に行ってる人は協力しない。そういうことで非常に困っているマイナス面があるんですがそういう意見は聞かれないでしょうか。

【市長】　そうですね、なかなかこれお答えしづらい、協力体制が得られないという。はい、関連ということで。

【男性】　言われたように、清水と東雲小学校に行くわけです。特にマンションの関係で、例えば２，３人東雲行きよると親御さんがそっちについて行ってしまう。これが普通の行事になると、どうしても子どもさん同士が交流がないわけですね。それで親御さんもない、という関係で例えば祭りのときなんかは、子ども会が呼びかけてくるんですけど、日常の交流がないんですよ。そういう関係で私は東雲行きよりますから東雲に行きますと、それから運動会も東雲の運動会に行きますと、清水の運動会には来ないというような関係で、これを市は今は清水校区、東雲校区、フリーな関係を何とか元に戻さんかなと。そうせんと、今言われたように子どもが少なくなった時代に子ども同士の交流がない。だから同じ清水に行きよる子は我々のほうにも「おはようございます」「ただいま」って言うんじゃけど、東雲行きよる子は同じ校区におってもあいさつがない、親もない。ところが都合のいいときは参加してくる。そこで親と親との交流が多少はできるんじゃけど、子どもの交流ができんのです。そのあたりを今校区別をフリーにしとるけども、そのあたりを何とかならんかなあと、元に戻せんかなあと、いうような感じがあるんですがそのあたりをひとつ市のほうでどう考えとるかぜひ聞かせてほしいです。

【市長】　いやこれは難しい課題だと思います。でも大原則としてはつながりは非常に大事です。各地区でどうこう言わずに、本当に個人とか孤独が目立つ世の中になってきてしまいました。「こ（個、孤）」が目立つ世の中になってきてしまったんですけども、つながりのある、昭和の時代と申しましょうか、三丁目の夕日っていう映画がヒットして第１弾、第２弾が出たりしました。やっぱり心の中にみんな「昭和の世の中よかったな」みたいな気持ちがあるんじゃないかと思いますけど、やっぱりつながりのある世の中をつくっていくことが、子育ても、介護のことだってそうだと思います。子どものしつけだってそうだと思います。昔は地区の人が「何しよんぞね」ってよその子でも怒ってくれましたけども、今「よその子怒ると怖い」みたいなことがございまして、やっぱりつながりがすごく大事だと思います。これは大原則、つながりが大事、大原則ですね。

【生涯学習政策課長】　先ほど市長から申しましたように、この通学校区の問題に関しましては、非常にデリケートな部分もあろうかと思います。今日この場で、私自身がいい答えも持ち合わせておりませんので、持ち帰らせていただきまして、通学区について担当課の考え等聞いた上でお答えをさせていただきたいと思いますので、ご理解賜りたいと思います。

【市長】　これは清水に限らずあるんじゃないかなと思いますので、いいご意見、いいご指摘をいただいたということで持ち帰らせていただいて、また返答を必ずさせていただきます。

【男性】　先ほどごみのこと言いましたけど、学生よりも２０歳代の独身の方のほうがごみは一緒に出す傾向があります。学生よりも多いと思います。私もちょっと見てみたんですが、住宅の管理会社にお願いして皆さん寄ってもろて、松山市でも、何社かしか大きなところないと思うんですよ、その方にお話したほうが早いと思います。学生さん、学校で話しても浸透はせんのじゃなかろかと思います。それと先ほどの通学の問題なんですが、やはり私も平和通に住んどんですが、ずっと清水小学校とか勝山中学校とか小学生中学生、事故があって集団の列にぶつかった「ああ、大変な事故になった」っていうのも頭にぱっと入りますよね。これはやはり歩道があれば少ないんですが、鉄砲町の駅から平和通の間は片一方側は歩道がない、片一方はものすごく広いんです。そしてどちら側が自転車にしろ、学生さんが通りよるにしろ、子どもさんが登校しよるときは別なんですが、遊びに行くときでも見ていただいたらわかるように、歩道がないほうが通る率が高いわけなんです。あれだけ広い幅の歩道があれば、半分ずつくらいに分けて広げたらどうじゃろかという気がいたします。それと本町のフジの前のほうの歩道に木が植わってますが、その木が枯れてなくなった後を木を囲う金具がそのままになっとるんです、二つ三つ。これも放っておくんであれば撤去してはどうだろかと。それと平和通の自転車道は短いんですよね。南北にそこで待っとったら自転車道から段になっとるんですよ、歩道に上がるのに。あれをずっと工事されとる方に「１メートルくらいの間じゃなしに２メートルくらいかなんぼか下の段をないようにしたらどうですか」と言うたら、「それはできんのです、決まりです」と言われましたけど、やはりそういうようなんも一つの優しさと、臨機応変にやっていただくということがいいんじゃなかろかと思います。それと「平和通」は「り」がないのが平和通じゃなかろかと思います。それが「り」があるんですよね、標識には。これも歩いて見てみてください、２カ所くらい「り」があったと思います。以上です。

【市長】　皆さんの頭も整理しやすいように一つ一つ行こうと思います。ごみのことは確かにそう言われると学生さんも各地から来ますので松山ルールが分かっていない学生さんもいらっしゃると思うんで、まあ学生も大事だし、確かに若い方のマナーっていうのも確かに、その不動産会社さんにっていうのも一つ観点かもしれませんね。いろんなパターンがあると思いますけど。

【環境政策課長】　今おっしゃられたように住宅の管理会社も、一つの大きな啓発する大事なところだと思いますので、普段分別にご苦労されている地区の町内会のことを考えますと、そういうありとあらゆる考えられるところに対して、啓発に努めていきたいと考えております。今の段階ではマンションの管理者とか不動産業者とか大家さんとかをしておりますけども、今おっしゃられたところも考えまして、範囲を広げていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

【市長】　そして木を切ったままのとこあるという。あれ場所フジ本町店の右側あたり、消防の前。そうですね、これは。

【都市政策課長】　この通りは県道ですから一度場所を確認させていただいて、県のほうに伝えておきます。

【市長】　今日大体８時半くらいに終わりますので、その後現場直接伝えていただいたら。松山市は「これは市ですから、これは県ですから、これ国ですから」ということは言わない方針にしております。これは市が受けたとしたら「いやこれ県に言うてください、これ国に言うてください」ってちょっとなんか嫌な感じしませんか。それ受けといて「県に伝えます、国に伝えます」っていうのがそうだと思いますので、これは県にお伝えをするという形を取らしていただきます。めんどい市長だと思いますよ、結構市民の方に対してはにこにこしてますけど、結構職員に対しては厳しいこと言いますんで、にこにこだけではありません。あとそうですね、段のことについては、やっぱり経緯があるんじゃないですかね、道路の段。

【都市政策課長】　ちょっと段のわかりにくかったんですけど、自転車道と歩道とに段があるということですか。

【男性】　あれが信号で待っとるでしょ、南北。歩行者が待っとるから自転車が右に行くでしょ。右行ったら段が。

【都市政策課長】　わかりました。現場さっそく確認させていただきます。

【市長】　これもまた現場を確認させていただきます。平和通は漢字でおさまるのが正しいか、「り」がつくのが正しいかについては、これ答えられますか。

【都市政策課長】　平和通は松山市道ですので、また明日確認させていただきます。

【市長】　標示、これもどっちが正しいかについてお答えができますね。以上で全部だったですかね。

【男性】　高齢クラブの担当をしておりますけれど、ちょっと視点を変えましょう。青少年の健全育成は当然のことですけれど、その中で一つだけ絞ります。子どもたちが自転車で歩道とか走ってますよね、いつも思うんだけど、２列になって通ってみたり、それから携帯を話ながら通ってみたりありますよね。これは市の教育委員会か県の教育委員会かはわかりませんけれど、やはりそういうところから各学校に行って指導してもらいたい。自転車の運転、これ高齢者の立場に立ってみると非常に危険なんです。そういう意味からすると、先ほどごみについては各学校に行ってお願いをしていると、そのとき自転車も一緒にお願いすれば１回でいいでしょ、そういう話をしていただきたい。もちろん、小学校、中学校、高校、大学まで行ってください。これ非常に危険です、だからこれをひとつぜひ、お願いをしたいように思います。以上です。

【市長】　今年度から新たに「松山市こども自転車免許証」というのをスタートさせました。自転車多く乗り始めるのは小学校３年生からなので、「松山市こども自転車免許証」という制度をスタートさせました。まずは、テストを受けてもらいます、交通ルールの。それで、このテストに合格した子には青色のこども自転車免許証を発行します。そして運動場で実地の交通安全教室を受けてもらって「ちゃんとルール守ってもらえますね」ってしてくれた子には、ゴールドのシールを貼りまして、ゴールド免許証になるシステムになってます。子どもに楽しみながらマナーを守ってもらうことが大事ですので、こういう制度を新たにスタートしました、お金もあんまりかかりませんので。この免許証なんでかというと、よく子ども交通安全教室とかで白バイとかに子どもたち乗ったり、仮の免許証もらったりして喜びますよね、これをやろうかなと思ってやりました。紙１枚だけだったら捨てられたりするので、これをもってたら松山市の市有施設の割引を受けられますよとなったら、お父さんお母さんも捨てない、大事に持ってます。この免許証の裏には、５つくらい守ってほしい項目があるんですけど、やっぱり松山市内の自転車のマナー、ルールが悪いというのを、松山市役所が認識しているから始めた制度でございます。これについては、高校生がスピード出して角から出てくることありますよね、怖いですよね。先ほど申し上げたとおり、子どもがぶつかって重大事故なる例がありますので、これから自転車教育はより一層進めていきたいと思っております。これは高齢者も含めて皆さんにご協力お願いしなければならないことになりますので、これからも積極的にやっていこうと思っています。

【男性】　学校のほうに行ってくれるんですか、どうですか。

【都市政策課長】　今現在、総合交通課で小学校、自転車の安全な乗り方ということで行って教育をしております。ただ、中学校、高校、大学については今確認ができませんけど、一度持ち帰らせていただきまして、内部で検討させていただきます。

【生涯学習政策課長】　小学校、中学校に関しては松山市の教育委員会ですから、市教委から各学校長通じましてご家庭から各お子さんへの指導なり、子どもさんへの直接の指導、また、高校に関しましては県教委になりますけれど、地域でこういう声があるということ、市教委から県教委へ通知ができる手立てがあるかどうか、また大学への手立てについては今何とも申し上げられないんですけれど、そういう流れとして通知をすることが可能かどうか持ち帰りまして検討させていただきたいと思います。

【女性】　私も道路関係でお聞きしたいんですけど、勝中の東側の道路を何年か前には広げてくださるということを耳にしてました。今大変なのは、両方から車も入ってきます、単車も行きます、大学生が通ります。私たちとても自転車では通れませんね、これは清水の一番難所じゃないかと思うんです。「よう事故がなかったな今まで」としきりに思います。今日は市長さんにぜひお願いして、お聞きしたいと思って質問したんですが、そういうところで、見てもらったらいいと思うんですよ。それで体育館の手前はちょっと道路広いんですよ、空き地になって、ここまで広がるという話がありましたけど、そこまで広げてもらったら、だいぶいいんですよ。今はいつ事故が起きてもおかしくないです、今まで事故がないのが不思議なくらいの道です。お昼でも、写真写しとこか、市役所持っていこうかと思うくらい、そういう感じなんですよ。だからそこをなんとか考えていただいたらと思います。

【市長】　勝山中学校のすぐ東側の道路ですね。

【都市政策課長】　この後に現場確認させていただいて、お話を聞かせていただくようにしたいと思います。

【市長】　一般的な話ですけど、松山市としては、皆さんが道が狭いとなかなか車が通ると自転車が怖い思いをするとか、そういうところはできるんであれば広げたいと思っています。でも中には土地所有者の方がどうしてもここは持っておきたいんだという例もあったり、そうなっていないのは何か経緯があると思います、ですので、今回１回持ち帰らせていただいて、そういうご希望が地区からあるというのは。

【女性】　体育館を寄せたらというようなことをこないだ言よった。

【市長】　体育館を寄せる、そういう方法があるんじゃないかと。これも持ち帰らせていただいて、必ずご返答いたします。

【男性】　だれも住んでいない家がありまして、そこの敷地の植木がものすごく大きくなりまして塀を押し倒しそうになっとるんですね、枝も道をふさぐようになっとります。防災訓練をしたときに、消防署の方にも来ていただいて、次は本町団地、５階建てですんで、はしご車、高層用ので避難訓練を１回やろうかということでお話したら、その木があって入らないということなんです。入らないということは、実際に災害が起きたときにも来れないということですよね。そのあたりを今後の災害に備えてお考えいただいたらうれしいなと思って、ちょうど通学路にもなっとんですよね、清水小学校への。通学のときに地震でも起こったら、塀でも倒れたら大事になると思いまして。ひとつよろしくお願いします。

【市長】　まず１点目は住んでない方の木が伸び放題になっている、これは何とかできんもんかということと、本町団地、狭い道ではしご車が来ないところは大丈夫かという問いに対してですけど、まず一つ目は。

【都市政策課長】　植木が道路上に出ている、これ、住んでいない住宅ということでまず、現場はまた確認させていただきます。その後、所有者を確認させていただいて、基本的には道路上に出ている木につきましては所有者責任で切ってもらう形になってます。行政が勝手に切ることはできません。そういう中で所有者が例えばなかなか発見されない場合とかいう場合には、やはり地元の皆さんの協力が必要になってこようと思います。そういうときには地元の方と一緒になって撤去に取り組んでいきたいと考えております。

【消防局企画官】　道路上に障害物があった場合は、災害発生時は緊急的に除去することができます。消防装備で、エンジンカッターとかチェーンソーとかで切断してはしご車が通る形にはできますが、山越六丁目の団地だけではなくて、４メートル道路確保してないところははしご車入りません。入ったとしてもアウトリガーというのを張り出してジャッキを下さないとはしご車は伸ばせませんので、そのスペースがないと、いくら道路が進入できてもはしご車できない場所もあります。そういう調査は消防職員がすべてやってますから、そういったはしご車が架悌できない対象物につきましては、消防設備の避難設備とか消火設備を強化して消火する方法、そしてタンク車とポンプ車が直近してはしご車が伸びる前に消火できる体制を取れる形で整えております。ですから１カ所だけはしご車が入らないからといって消防が火を消せないとか、人が助けられないとかいうようなことはございません。本町団地はベランダにパーテーションがついてますから、自宅から出火した場合で玄関から出れない場合はベランダに出てパーテーション破壊して隣向いて逃げれば命は安全になっている、建築基準法とか消防設備で命の安全が確保できるような体制は整えているところです。

【女性】　２番に返らせていただきますが、中学生からの要望です。部活がないときや部活に入ってない子どもが、外で遊ぼうと思ってもサッカーはできないし、家でゲームをするとかしかないので、もし清水地区で大きな公園が１カ所でも２カ所でもあったら、バスケットのリングですよね、そしたら大きくボールを投げることもないので、ぜひ設置してほしいいうことです。それともう一つ、清水地区ではないですけど、堀之内に夏休みとかに子どもたちが遊びに行きますよね、そのときに、県美術館のところには時計があるんですけど、木屋町のほうから入るところ、広いのに時計が一つもないんですよね。ですからそこに、夕方帰ろうかいうときに時計があったらとても便利だと思います。これを可能だったら設置してほしい。それと３番のテーマですけど、宮前川、清水公園から本町五丁目に流れる川ですけど、あそこ一度だけ木屋町のほうの店舗にも水が入りました、大雨のときはいつも心配するんですけど、その点を考えてほしい。以上です。

【市長】　まず、公園ですね。公園はちょっと悩ましいことがありまして、私も自分が子どものときは、今ＮＴＴ山越ビルが建ってますけど、あそこが大きい空き地でしたから、ああいうところで遊ぶことができました。のびのびと野球なんかもできましたけれど、今、なかなかそうもいかない。公園でボール遊びもできたらさせてあげたいんですけど、逆に公園の周りの方からすると、うちにボールが飛んできて、勝手に子どもが入ってきて困るとか、瓦が割れるとかいうのもある。そういう中でルールを決めてるわけですけれど、私が個人的に考えてるのは、子どもたちが遊びにくいルールになってるんだったらいかんなと、逆に公園にはおじいちゃんおばあちゃんも来られるので、できるだけ地元でルールを決めていただくような形にできれば、利用者が一番使いやすいルールにできればと思ってます。これは皆さんのいろんな意見があるんで、調整というのは本当に難しいと思いますけど、そういったことができればと思っております。バスケットのリングについては、福音寺の跨線橋の下で、ちょっとスペースがあるのでバスケットリングをつけるようなことが最近あったんじゃないかな、それは一つのやり方としてありますので、これは持ち帰らせていただきたいと思います。堀之内の時計とハザードマップ、浸水のことになります、これはお任せします。

【市民部長】　浸水の問題ですけど、内水ハザードマップといって、大雨が来たときに水があふれ出て浸水する箇所、松山市内にもたくさんあるんです。今ちょうどハザードマップの作成中です。想定できる箇所が、５月くらいには一定出るんですけど、それ集めてハザードマップをつくりますので、そのあたりができた段階で個別の、今のも持ち帰りさせていただきまして、それをもとに検討した結果をまたお知らせしたいと思っております。

【市長】　堀之内の時計のことについては。

【市民部長】　これにつきましては、きちんと担当課に伝えさせていただきますので、一番希望される箇所、具体的にありますか。昔の国立病院のあったあたり、産院跡あたりですか、わかりました。具体的な場所で、できるかどうかも含め検討させていただきます。

【市長】　私から、厳しい財政、厳しい予算ということをよく言うんですけど、松山市の財政についてここでお時間をいただいて説明をさせていただいたらと思います。何をするにしても、財政、予算というものが関わってきますので、ご説明をさせていただきます。中四国の中で松山市は比較的財政いいほうだと言われてますけれど、円グラフを書きます、松山市が１年間で出ていくお金で一番大きなウエイトを占めているのが、４０パーセントを占める民生費というお金です。平たく言うといわゆる福祉のお金です。福祉にかかるお金が一番ようけいるんじゃなと思ってください。ざっと言いますが１年間で、松山市単体でこの民生費は５０億円増えたんです。比較的財政の状態がいいと言われている松山市でも、１年間で民生費は５０億円増えたんです。よく言われる生活保護費、これも大事なお金ではありますけれど、この生活保護費は１年間で松山市の場合２０億円増えたんです。今、ものすごく生活保護費って言われます、これも大事なお金なんですけど２０億円増えた。今、国においては１，０００兆円の借金を抱えていると言われています、１，０００兆円です。１，０００兆円割る１億人とすると、一人どれだけ借金を抱えているのかというのがわかっていただけると思います。中学校の勉強だったと思うんですけど、国から地方に国庫支出金とか地方交付税交付金という形でお金が回ってきますけれど、大元が１，０００兆円という借金を抱えているのならば、地方にお金回ってこないですよね、これから膨らむことはちょっと考えにくい、１，０００兆円に来るまでにだれかここまでに来るまでにブレーキをかけれなかったのかと思います。あきれるような大きな額です。例えば５０億円増えたんだったら、松山市の財政は膨らむというのは考えにくいですから、どこかで５０億削らないとバランスがどんどんどんどん悪いほうになっていきますよね。生活保護費が２０億円増えたんだったらどっかで２０億円削らないと、どんどんどんどん坂道、下り坂になっていきます。こういうタウンミーティング、皆さんの声をいただいておりまして「市長、これしてや、あれしてや」って皆さんから言われます。僕も人間ですからそれにこたえたいと思いますけれど、大きな予算が絡むものについては慎重にならざるを得ない、だからと言って何もしないわけではありません、今何をやらなければいけないのかという順番をつけてやります。例えば今、松山で大きなお金が要るのは松山外環状道路です。松山インターチェンジから空港まで、今３０分かかります。全国の２４の地区で空港とインターチェンジがどれだけ時間かかりますかっていうデータを取ったんです、２４地区の中でインターチェンジと空港が３０分以上かかるところは、四つだけ。そのうちの一つが松山、あとの三つが北海道、広い北海道と松山比べちゃいけません、ですから松山は時間かかりすぎってことが言えるんです。考えてみたら、松山インターチェンジから中に入ってきたら渋滞するのわかってるのに３３号で朝生田行って、朝生田から環状線で来て新空港通に来て空港に向かう、わざわざ中に入ってこんでいいのに入ってきとる、だから外環状つくる、これは３０分から１０分に短縮できます。ただ短縮できるだけじゃなくて、大きい災害が起こった際には緊急の避難路、緊急の輸送路になる。市内の渋滞が減れば、ＣＯ２、排気ガスの削減にもなる、道路が渋滞しとったら子どもたちが自転車で飛び出す、バイクにぶつかることもあるでしょう、それも少なくなっていく、貨物の人からすると、時間通りに届けられないというのは死活問題だそうです、そういういい点がいくつもあるんで松山外環状道路なんかはつくる。何にもしないんじゃなくて優先順位をつけてやっていくんです。皆さんから声を受けて、僕も人間ですからしたいと思います、市長の人気取りから考えたら「あれやりましょう、これもやりましょう」って言えたほうがいいのかもしれないけれど、でもそれは、よくよく考えると将来の子どもや孫にツケを残すことにほかならないんではないか、ここは慎重に考えていくということをさせていただいてます。限られた予算というのはそういう意味ですので、ご理解をいただけたらと思います。何もしないというわけじゃございません、そのために皆さんの声を受けて何をすべきなのかという優先順位をつけてさせていただいておりますので、よろしくお願いします。これ言うと次の手が挙がりにくくなったりするんですけど、あんまり予算のことは気にしないで、言っていただいたほうがいいですから言ってください。

【女性】　山越に住んでおります、２，３あるんでごちゃごちゃして、私自身も考えがまとまってないんで、申し訳ないんですがお許しください。施設に入る手続きをするのにすごく大変な思いをしたという声を聞きました。若い人が代理で息子が行った、そしたら代理ということで委任状云々が大変な思いをしたといったこと受けました。私なんか一人でしないといけないから、大変ねと思った次第ですので、今後、簡素化できるようなことご配慮いただけたらと思います。次に、子どもさんとお年寄りとのかかわりについてですが、割と核家族が多ございます。元気なお年寄りが増えている時代でございますので、何かそういった接点ができる方法がないか、施策がないかって思っているんですが、これといった案はございません。大街道のほうで、サロン形式でかかわりを持ったことしてくださるっていうのを聞いてものすごくうれしくなってるんですけども、年に１回だけ、夏休みだけ、子どもさんたちと地域のお年寄りで交流会というのは持ってるんですけども、１回きりですので、通常何かでできる方法がないかなって思っているところです。これといった案、方法、何もわかりません。以前に１週間ほど講習を受けたら子どもさんとのお手伝いができるシステムがあるように聞いてるんですけど、そこまでしないといけないのかな、もっと気軽くできる方法はないかなと思ってるんですけど、何かそういった方法を考えていただけたらと思っております。児童クラブ３年生までは行けますけど、４年生になったらご自宅でご自分で遊んでねという形に今なってると思います。そういった子どもさんたちとお年寄りとの接点の、何か地域で支える方法はないか、大きな課題で即答もできかねると思いますので、今後においてそういったことご検討いただけたらなと思います。

【市長】　３点いただいておりますので、１点１点行きましょうか、まず、施設に入るときの簡素化ができないかということ。

【社会福祉担当部長】　施設に入られるときの手続きの簡素化、まず、身分のことについては、私どもも委任された方に簡素な手続きでできるようにとは常々思っております。特に福祉に絡むことですので、簡素化をやっていきたいという思いはあります。ただ、行政の弱いところとして、初めから嘘をついてしようとする方には行政は非常に弱いです、そういった意味で来られた方の身分確認をさせていただきながら適切な手続きを踏んでいきたいという思いがあって、手続きの中で委任状であるとか、自宅に送りますからとかいうお話があったんだろうと思いますが、そういった意味で非常に行政の弱い部分を、逆に皆様にご迷惑をかけない、違った方が違った名前でいろいろな手続きをされて、後々皆様にご迷惑をかけないといったことも考えながらやっておりますので、簡素化については十分検討してまいりますので、そういったことでご理解いただきましたらと思います。

【市長】　二つ目の、お子さんとお年寄りの交流について大街道の話をしていただきましたので、これは私の公約事業でしたので、触れさせていただきます。少子高齢化、結びつきが大事と申し上げましたけど、今、退職されても皆さん元気ですから、そういった方に活躍してもらいたい、力貸してもらいたいと思ってます。それでお子さんのお世話もしていただけたらと思ってます。そういった中で「いきがい交流センターしみず」は素晴らしい施設です、平成１４年にオープン、１０年です。清水小学校の余裕のできた教室、空き教室を利用してるんですけど、あれは清水と姫山が分離しましたから、明らかに余裕教室ができる、そこを利用して子どもたちとおじいちゃんおばあちゃん、地域の方と交流ができる場、これぜひセンターを活かしていただきたい、素晴らしい施設ですから。後が続くことができればと思うんですけど、今、児童数を４０とか３５に減してるんで、余裕教室がなかなか生まれないというところがありまして、次に続くところがなかなか出てこないところが残念なところなんですけど、ですので、四国初でできたセンターはすごく大事ですから、大事にしていただきたい。そして大街道の「てくるん」、てくてく歩いてるんるん気分というので公募で「てくるん」というのをつくったんですけど、大街道の空き店舗にしておくよりは、あそこで保育ができたら、託児、お子さんを預かって、お父さんお母さんが買い物に出かけるとか、商店街に多目的トイレが欲しいという、障がいがある方の要望も受けてましたんで、複合施設つくりました、そういう思いであります。できるだけ市民の皆様に手間をかけないという思いは常にありますので、今度７月に福祉のワンストップサービスというのを市役所の中で始めるんですけど、皆さんにできるだけお手間を取らせないようにと考えてやるのが福祉のワンストップサービス、これもやっていきたいと思ってます。後、児童クラブ小学校４年生以降のことについて。

【社会福祉担当部長】　現在児童クラブについては３年生までの児童を対象にしているところが多いです。ただ、一部には４年生もお越しいただいている校区もあるんですが、これは児童クラブによって、余裕がある場合に、一部で４年生も入られているところもあります。ただ、児童クラブを設置する場所が、私ども考えているのが、できるだけ学校の施設あるいは学校の敷地内につくるのが子どもにとって一番安全という思いがあって今までそういった形で進めておりますので、今後そういった希望も含めて市全体で検討してまいりたいと思っておりますので、今すぐここでは回答はできませんが、研究してまいりたいと考えております。

【男性】　堀之内公園の利用について、確かに大きいイベントは素晴らしいですが、これは年何回かですね、日ごろ見たらほとんど使ってないと思います、皆さん見てもらったらわかると思います。あそこはなんかもっといい、例えば我々がグランドゴルフとか盛んなんですね、これする言うたら遠方にいかんとできんのです。あそこなんでこんなことできんのかと私も不思議に思って、利用できるようにしてもらったらどうか、それとなぜできないのかということですね、いつも思うんですが。それとこれは余分ですけど、よく年寄りが話すんが、あそこになんでお年寄りのふれあいの家とかができんのかと、市内の年寄りは皆郊外に郊外に行かんといけんです。なんであそこはあれだけ空いとるのに、ほかの利用価値があれば別ですけど、考えられないかと、よく似た質問ですが。

【市長】　時間迫ってきましたので、私が概要しゃべらせていただきます。堀之内の利用についてよく言われます。堀之内に以前、県民館があった、市営球場もあった、国立病院もあった、昔はあそこに賑わいがあったって言われるんですけども、やっぱり出て行ってるというのは経緯がありまして、あそこは松山城の史跡で、文化庁の範疇になるんです。例えば松山市営球場が何もありません、あまりにもさびしい。実は松山市営球場って最初は市民の方のボランティアでできたんです、内野スタンドとか土盛ったの市民なんですよ。そういったことも全く何も感じられないようになってたので、同じ場所にピッチャープレート、バッターボックス、ホームベース、そしてここに松山市営球場があったんですよというモニュメントつくったんですけど、それつくるだけでも文化庁と相当協議をしなければならなかった。あそこは国の史跡なので、文化庁としてはできるだけさわってほしくないという形です。それも一つの考え方ではないかなと思います。中には、サッカーのスタジアムあそこに欲しいという声もあります。あそこにスタジアムできたら、私もそれだけお客さんが来たら、大街道や銀天街で後食事してくれるかな、お酒飲んでくれるかな、地域経済が元気になるかなとも思いますけど、あそこにスタジアムをつくるということは非常に困難なことです。そういう経緯があるというのを皆様にはお知らせをしたいと思います。しかしながら、例えば日曜日見ますとあんな街中で凧揚げできるところないですよね、芝生の上で。あんな街中でゆっくりしている家族の姿を見るとそれはそれでまたよかったのかな、いざという緊急事態にはあそこ避難場所にもなるところです、できるだけイベントもあそこで打っていきたいと思っています。にぎわいをつくりたい、イベントやコンサートの開催のできる空間のある公園です。そして市民の皆さんのご意見から犬の散歩、キャッチボール、バトミントンなどの軽スポーツはできるようになってます。１０月は土日すべてイベントがありましたし、小中学校の遠足も多くなってます。いろんなご意見あるのは当然なんですけど、ああいう公園がいいという方もいるし、なんか建てたほうがいいじゃないかという方もいるんですけど、国の史跡ですから難しいところがあるんだということをお伝えをしたいと思います。あと、都市政策課長から詳細なところお伝え願いませんか。

【都市政策課長】　堀之内公園については、市長が今説明しましたように、大きく分けて広場がふれあい広場、やすらぎ広場、桜広場という形です。その中でふれあい広場につきましては犬の散歩とか軽スポーツとかできます。また、やすらぎ広場につきましては、犬の散歩や軽スポーツはできませんが、多彩なイベントの開催が可能です。ただ、イベントとか広場を大きく独占して利用する場合には、料金等もかかりますので、担当課が公園緑地課ですので、相談していただきたいと思います。

【市長】　木のことも、お城というのは城と石垣が見えるといいと思うんですけど、あの木も勝手に切ってはいけないことになってます。石垣周辺の樹木も国指定の文化財、愛媛県の天然記念物にも指定されております、伐採をしようと思ったら一定の規制がかかります。でも、石垣が保存できなかったり、保護に悪影響があるものについては国と県と協議をして適切に処理をすることができるんですけども、木についても文化財ということを申し添えたいと思います。街中にあれだけの緑があるところはないと思いますので、適切にしていきたいという思いです。

【市長】　今日は活発なご議論をありがとうございました。最初あんまり手が挙がらなかったので、どうしようかなんて思ってたんですけど、結構質問の数はいただけたんじゃないかと思ってます。まだまだ話したい事柄あったんですけど、私ばかりしゃべってもいけませんので、最初に申し上げましたけれど、やはり、この清水地区は宝物がいっぱいあるところです。最初に話させていただいて皆さんに認識していただいたかなと思ってますけど、こんなに素敵なものがいっぱいあるところですからこれ大事にしていただきたい。そして、何べんも言いましたけど、少子高齢、これからは限られた予算の中で、医療費、防げるものは防いでいければ、国においては１日３，０００歩歩いたら２，７００億円の医療費が削減できるというデータがございます。１日３，０００歩というと２キロちょっとですけど、これは歩ける方は歩いていただきたい。健康な方向なりますので、できるだけ歩いて楽しいまちづくり、歩いて健康なまちづくりをして、医療費を適正なものにして、ほかで使えるお金に回していきたいと思ってますので、歩いて健康なまちづくり、そのためには、この大川の水、緑。水と緑があるまちは歩いても楽しいですから、そういういいまちが清水だと思います。今日もお話しましたように、行政だけではできることは限られるんです。民間の方と車の両輪のように、行政ももちろんタイヤを動かすけれども、民間の方も一緒にタイヤを動かしていただいたら、前向いてとても進みやすくなります。行政だけではやれることは限られますので、どうか皆様のお力添えをいただきながら進んで行けたらと思います。最後に、松山市には、いい組織がその地区にできたならば、権限と財源をお渡ししましょうというまちづくり協議会というのがあります、松山市４１地区の中で今１０地区このまちづくり協議会ができてまして、あと２地区が準備会ができて、後に続こうとしてますけど、こういうのもつくっていただいたら、よりまちづくりがしやすくなると思っております。ちょっと長くなりましたけれども、皆様の声をいただきながら、すぐ反映できるものはすぐに反映して、いい松山市政に活かしていきたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。今日は長時間ありがとうございました。

――　了　――